

平成 28 年 8 月吉日

東北 6 県 作業療法士会会員各位

第 27 回東北作業療法学会

学 会 長 土井勝幸

実行委員長 道又 顕

(担当 一般社団法人宮城県作業療法士会)

## 第 27 回東北作業療法学会のご案内

### 演題募集のご案内

このたび、第 27 回東北作業療法学会を平成 29 年 6 月 24 ～ 25 日に宮城県仙台市で開催することとなりました。作業療法士はリハビリテーションの専門職として昭和 40 年に国家資格として認められて以来 50 年が経過しました。時代の変化に合わせてその活動の場を医療・保健・福祉そして地域生活支援へと拡げております。東北 6 県の作業療法士の数は 4000 名を超え、これに伴い着実に作業療法士の支援が行き届くようになり、身近な存在として認知されようとしています。

東北作業療法学会は平成 2 年より、東北 6 県の作業療法士会が持ち回りで運営・開催しております。5 年前に宮城県で開催予定でした第 22 回東北作業療法学会は、震災のため中止を余儀なくされ宮城県での開催は約 10 年ぶりとなります。本学会のテーマを「人は作業で生きる～生きる力を支える作業療法～」と定め、只今鋭意準備を会員が一丸となり進めているところです。

第 27 回東北作業療法学会の演題を募集いたします。

東日本大震災以降の東北作業療法学会では多くの演題のおよび多くの参加者によって盛会裡に終わっております。今回の学会においても日ごろの実践・研究の成果を、ここ宮城の地でご発表下さい。多くの皆さまに奮ってご応募いただき自己研鑽の場としていただければ幸いに思います。

皆さまからのたくさんのご応募を学会長はじめ実行委員一同、心よりお待ちしております。宜しく申し上げます。

#### 開催の概要

学会テーマ：「人は作業で生きる～生きる力を支える作業療法～」

会 期：平成 29 年 6 月 24 (土) ～ 25 日 (日)

場 所：仙台市民会館 (宮城県仙台市 青葉区桜ヶ岡公園 4-1)

プログラム：特別講演、教育講演、公開講座、一般演題

# 第27回東北作業療法学会 演題募集のご案内

## 1. 演題応募資格

---

筆頭演者は原則、東北各県 作業療法士会会員に限ります。

## 2. 演題登録期間

---

演題発表申し込み 締め切り 平成29年1月20日(金) 正午

学会誌原稿(抄録) 締め切り 平成29年2月10日(金) 正午

## 3. 募集内容

---

一般演題枠として作業療法(士)に関する事例報告、実践報告、研究報告。

## 4. 発表形式

---

演題発表の形式は口述発表、ポスター発表となります。

- ・口述およびポスターの発表時間は7分、質疑応答は3分です。
  - ・口述発表はすべてPC(Windows版 Microsoft Power point2007,2010)を用いて行います。原則、動画の使用はご遠慮願います。
  - ・ポスター発表のポスターは、パネル(ヨコ90cm, タテ160cmでA3サイズ8枚分)に収まるサイズを予定しております。詳細は学会誌でお知らせいたします。
- ◆優秀な発表には、以下の基準に従い『学会長賞』『学会長奨励賞』を授与致します。

## 5. 倫理的事項について

---

### 1) 対象者の同意について

個人が特定されるような報告では、本文中に対象者の同意についての記載が必須です。同意に関する記載が不十分な場合、発表を辞退していただく場合があります。

### 2) 最大限倫理的な配慮を行うこと

研究の計画・実行・分析・演題作成等の過程において、個人の尊厳、人権の尊重等の倫理的配慮を十分に行い、各大学・病院等に倫理審査委員会がある場合は、審査を受けた旨を記載して下さい。

### 3) 著作権等への配慮

他の著作物からの引用を行う時には、本文中に出典の著者と発行年数(フルネーム、西暦)を明記し、著作権を侵害しないように注意して下さい。

### 4) 学会長の要請に対する協力について

学会長から、演題内容に関する倫理的配慮を証明する文書の提出や説明を求める場合があります。その場合はご協力願います。

## 6. 演題発表申し込み方法

---

申し込みは、学会ホームページ(<http://tohoku-ot.blogspot.jp/>)にアクセスし、「演題の登録」から必要事項をご記入ください。抄録原稿の登録方法については、後日、ご登録いただいたメールアドレスに、別途ご連絡いたします。

## 7. 抄録原稿（学会誌原稿）作成要項

---

- 1) 共同演者は4名までとなります。
- 2) 本文の文字数について  
A4版1枚（1ページ；1行22文字×46行×本文以下2段組）、フォントサイズ10.5ポイント、日本語（全角・MS明朝）、英数字（半角・Century）で1,500文字以内とします。
- 3) 原稿には、目的、方法、結果、考察、引用文献等の小見出しをつけること。小見出しは左寄せとし、その両端に【】をつけて囲み、あとは必ず改行して下さい。
- 4) 機種依存文字について  
入力される文字によって、文字化け・脱字等の不具合が生じることがあるため、以下の特殊文字（記号）の使用は絶対に避け、半角英数や他の文字で代用して下さい。  
避ける文字（記号）：囲み数字、ローマ数字、単位記号、省略記号、等
- 5) 応募演題には必ず3つの「キーワード」を選択して下さい。学術誌「作業療法」第33巻第4号の「作業療法キーワード集」、または日本作業療法士協会ホームページ「学術委員会」欄の「キーワード集」をご参照ください。  
<http://www.jaot.or.jp/science/keyword.html>

## 8. 演題採択基準について

---

演題の採否は、1演題につき2名の査読者が以下の採択基準に従って審査した後、学会長と演題採択委員会の協議のもとに決定します。

- ① 序論：研究の背景（先行研究の成果や残されている課題）、研究の重要性や必要性が述べられているか。
- ② 目的：研究で何を明らかにするのか、具体的な目的が述べられているか。
- ③ 方法（アプローチ）：対象と方法が具体的に述べられているか。方法は研究の目的に合致しているか。倫理手続きが述べられているか。
- ④ 結果（実践の意義）：データが示されているか（質的研究においてもデータの提示は必須）。統計処理の結果（危険率など）は正しく示されているか。
- ⑤ 考察（結論）：得られた結果が論理的に説明されているか。研究の重要性や問題点、社会に果たす貢献などが述べられているか。考察の内容は序論や目的と整合しているか。
- ⑥ 研究は作業療法の発展に貢献するか。研究の内容は作業療法と関連しているか。作業療法の理論をより強固にしたり、実践のレベルを高めたりするのに役立つ研究であるか。
- ⑦ 斬新さや革新性はあるか。作業療法を発展させるユニークな発想や、オリジナルな視点はありますか。
- ⑧ 抄録の体裁は①から⑤に示した項目から構造化され、序論、目的、方法（アプローチ）、結果（実践の意義）、考察（結論）が論理的に記述されているか。
- ⑨ 抄録は読みやすく記述されているか。文法や文体に統一性はあるか。簡潔な文章で、他者が研究の内容を理解できるよう要点が明確に記述されているか。
- ⑩ 人を対象とする研究（基礎研究を含む）において、個人情報保護と倫理的な配慮がされているか。研究は当該機関の承認を受け、個人情報を保護し、対象者からインフォームド・コンセントを得て行われているか。



## 問い合わせ先

第27回東北作業療法学会 学術部長 大内義隆（介護老人保健施設なとり）

E-mail : [tohokuot27@yahoo.co.jp](mailto:tohokuot27@yahoo.co.jp)